

「動中の工夫」主義

1. 「成功の方程式」

右の「訓」は、私が「成功の方程式」と呼んでいるものです。「成功」という言葉は、いろんな意味が含まれますが、「人格」（他人の評価）という事で「ブランド化の法則」でもあるのです。

まず、「心」が変わるという事なのですが、誰でも、「これは！」と思う事が、度々、あるものですが、それを「チャンス」にしてしまう人と流してしまう人の差が生まれるのです。その「差」が大きいのですが、実は、「ちよつとの差」なのです。単純には、「実行」に移したか否かなのです。この「心」⇒「行動」へのシフトが第一の関門なのです。

**心が変われば、行動が変わる
行動が変われば、習慣が変わる
習慣が変われば、人格が変わる
人格が変われば、天命が変わる**

次に重要な点は、「行動」⇒「習慣」という「躰け」の問題なのです。「これは！」と思うことの多くは、体内のDNAが反応する事なので、多くの事は「やり続けられる」ものなのです。ところが、DNAが反応していても、あれやこれやの理由をつけて、途中で投げ出してしまうのが普通の人なのです。ポイントは投げ出さない「仕掛け」をこらしておく事なのです。例えば、「啐啄」(ソツク)と言うのですが、「心」が動いた瞬間を見抜いて「褒める」ことも「仕掛け」なのです。「褒める」⇨「暗示」と考えると「〇〇のプロ」という風に表現して、気分よくさせる事がコツなのです。

2. コツコツ⇒ジワジワ⇒イキイキ⇒タンタン

これは、宮内先生に教わったのですが、船井先生は昔「コツコツ⇒ジワジワ⇒イキイキ⇒タンタン」とおっしゃっていたそうです。何事でも、物事を始めるとジワジワと「コツ」みたいなものが見えて来るのです。この「コツ」みたいなものを試して見ると自分なりに結果が出るようになり、自ずからイキイキとして「開眼した！」と思う瞬間が出てくるのです。ところが、最初の頃の「開眼した！」は、錯覚に過ぎないのです。あくまでも「まぼろしの開眼」なのです。この時に、自惚れて、努力を怠ると「元の木阿弥」に戻ってしまうのです。

この束の間の「イキイキ」を享受しながら、すぐに冷静になってイキイキ⇒タンタンに戻る必要があります。そして、タンタンとしながら、また、コツコツ⇒ジワジワ⇒イキイキという流れに向かって行くサイクルを回し続ける事が重要なのです。途中で、躓くような失敗もあるのですが、それを冷静に乗り切って「何かをつかんで立ち上がる」ことで、さらに、大きく成長するのです。この大きく成長した時に、他人から「あの人は変わったなあ！」という評価が生まれて、その評価が広がると「人格」という「ブランド」が形成されるのです。

3. 「動中の工夫」主義

何事も「ええなあ！」と思ったら実践する事が重要です。実践する前にあれこれと悩む方がおられますが、結局、何も着手できないで終わります。右のパソコンの画面に「AMIニュース Vol. 74」としてありますが、この「AMIニュース」は、昨年3月に、突然、書き始めて、今回が74号であると示しています。普通ならば、「三日坊主」という風に、2～3回で終るケースが多いのですが、なんと74回も継続できているのです。



どんな事でも「3日、3月、3年」と言うように、大体、3という数字が分岐点をつくるのです。私は、「イケル！」というイメージを信じて、まず、3回書くことを目指して「即実行」するようにしたのです。

あれこれと悩まないタイプなのです。たまに「イケル！」は、妄想に終ることもあるのですが、妄想を怖れては、何も始まらないのです。このメルマガを週1回発行すると決めて、とにかく、記事をまず、3号書くようにしたのです。「動中の工夫、静中に勝ること幾百千億倍」という禅語がありますが、まさに、その通りなのです。書き始めると次から次へとアイデアが湧いてくるのです。その結果、3号を通過して、今や74号となっているのです。私は、「動中の工夫」主義と呼んでいます、イメージを信じて、走りながら事実で考えるようにしています。

4. 「天命が変わる」

皆さん、集中している時って、どんな感じなのでしょう？思わず話し込むとアッという間に時間が経過するというご経験があると思います。集中している時の特長の一つが「時間」なのです。アッと言う間なのです。さらに嬉しいのは、集中していると脳内アドレナリンの働きで「疲労感」がないのです。これが、二つ目の特長なのです。この脳内アドレナリンは、健康にもよいとの事です。最後に、大きな特長があるのですが、それは「楽しい」のです。ホントに、苦痛など感じないのです。どちらかと言うとイキイキと楽しんでいるのです。これは、非常に大きい事なのです。

また、「集中」している時は、邪念が消えており、「神様」がおりているのです。私の文章は、この「神様」の勢いで書いている事が多いのです。今も「神様」の指示で書いているような心境です。母は、「虫になれ！」と忠告してくれましたが、「邪念」を排除するには、「集中」するしかないのです。「自然体」という言葉がありますが、私は、「自然体」≒「DNA」と考え、楽しく集中できる事を無心になって実行する事と考えています。一般的な意味では、自然体は気負いのない自然な態度という事ですが、この「虫になれる」という事も自然体と考えるのです。そういう意味で、遺伝子であるDNAが働くようになって、ホントに、ビックリするようなパワーが出るのが自然体の特長なのです。私も、時々、「オレって、天才？」と錯覚しながら、やっています。

「才能」が開花して、イキイキと活躍するようになると「人格」(評判)が良くなって、いろんな人(ファン)が集まって来るようになるのです。この「集まって来る」がポイントです。「ファン」=「信者」とするならば、「信」+「者」=「儲」と書くように、ドンドン「信者」が集まって来て「儲かる」ようになるのです。それは、不思議な事ですが、実際の経験則でも実証されています。まず、最初の「ファン」がつく事が大切であり、その「ファン」が仲間を呼び集めてくれるのです。その結果、「一定数」を超えると「信者」が大きなパワーになって「上昇気流」になるのです。「信者」⇒「儲」は、このような時に始まり、ついには、ホントに「天命」が変わるのです。

【まとめ】

1. 「成功の方程式」≒「ブランド化の方程式」
2. コツコツ⇒ジワジワ⇒イキイキ⇒タンタン
3. 「動中の工夫」主義・走りながら、事実で修正する
4. 「自然体」・DNAが反応するので「虫」になれる

【AMIニュースのバックログは <http://www.web-ami.com/siryu.html> でご覧になれます！】